



## 初めましてジャコメルです

ジャコメル・ブルーノ

(平成17年度青森県海外技術研修員)

私は、ブラジルのサンタ・カタリーナ州フロリアノポリス市から青森県へ技術研修員として来ました。7月から来年2月まで増養殖研究所にお世話になります。

私は今22歳で、サンタ・カタリーナ連邦大学の学生として水産学を勉強しています。

来日した目的は、ホタテガイ・ヒラメなどブラジルで養殖可能な日本の重要魚種について学習するためですが、その中で青森県に来たのは、これらの種の生産量が大いことと、新しい技術があるからです。特に増養殖研究所は、これらの種の成熟・産卵を研究する重要な施設と考えています。

また、ブラジルでの水産業は全般的に日本に比べ遅れているため、増養殖・資源管理・水産加工などについても勉強し、ブラジルにおける水産分野のパイオニアになれればと思っています。このため、県内の水産関係研究機関や養殖を行っている漁協などにおじゃました際には、ご指導よろしくお願い致します。

さて、私事です。普段は、サッカー、サーフィン、スノーボード、水泳、音楽練習（バイオリン・ギター）等をしたと思っています。

日本の伝統や習慣は私にとって別世界でとても新鮮です。それらを学習するのはとても興味深く、面白いことです。

特に、今まで日本食は多くの種類を食べたことが

ありませんでしたが、こちらで、ホタテ・刺身・寿司・カレー・お好み焼き等々をごちそうになり、大変おいしいことがわかりました。ブラジルでは日本食は近年、健康志向も手伝って大変なブームです。今回の経験からブラジルに素晴らしい日本の食文化も伝えたいと思いました。

また、日本の伝統であるネブタはとても美しく、素晴らしいもので、大変素晴らしい時を過ごすことができました。これからも、日本の伝統・文化に触れ、ブラジルに日本の素晴らしさを伝えたいと思っています。

最後に、貴重な研修に参加させていただき、関係者の皆様には大変感謝しております。短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。



マコガレイの耳石調査（年齢査定）